

東北地方 1か月予報

(10月25日から11月24日までの天候見通し)

平成20年10月24日
仙台管区気象台発表

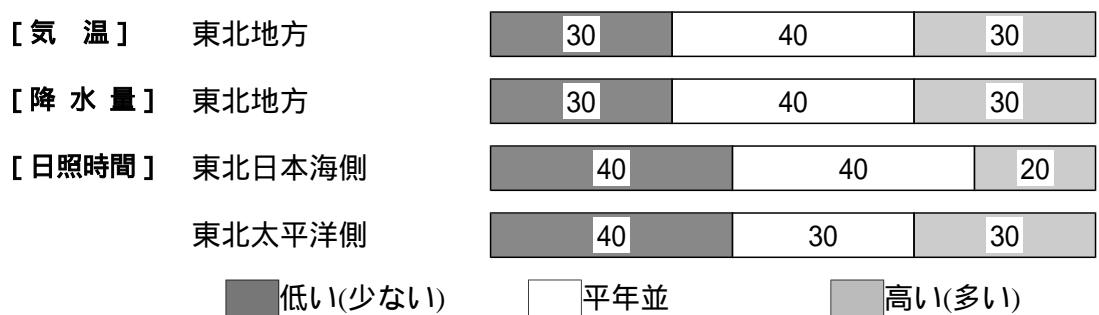
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

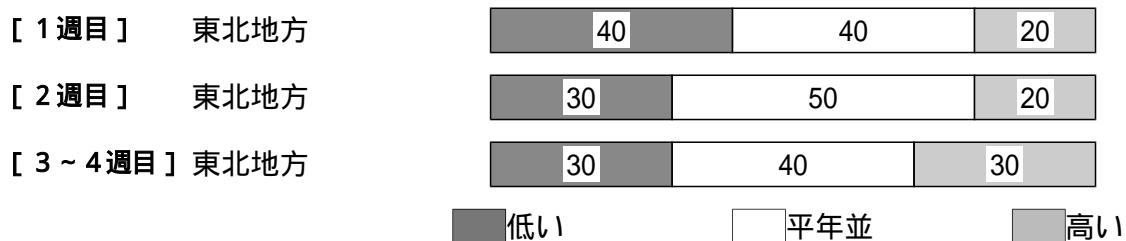
日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は平年並または低い確率がともに40%、2週目は平年並の確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月25日(土) ~ 11月24日(月)
1週目 : 10月25日(土) ~ 10月31日(金)
2週目 : 11月 1日(土) ~ 11月 7日(金)
3~4週目 : 11月 8日(土) ~ 11月21日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は10月31日
3か月予報: 11月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	7.8	133.6	107.6	10.2	8.9	6.6
深浦	8.8	154.2	86.3	11.1	9.9	7.7
むつ	7.5	118.4	122.8	9.9	8.6	6.4
八戸	7.9	71.9	148.2	10.3	9.0	6.8
秋田	8.9	185.9	101.7	11.2	9.9	7.8
盛岡	6.9	100.4	129.5	9.2	8.0	5.9
大船渡	9.4	112.5	147.4	11.5	10.4	8.4
宮古	8.9	89.1	155.0	10.9	9.9	8.0
仙台	10.3	74.8	150.6	12.5	11.3	9.3
石巻	9.6	75.4	158.0	11.8	10.6	8.5
山形	8.4	79.7	112.0	10.6	9.4	7.4
新庄	7.5	194.8	75.1	9.8	8.4	6.5
酒田	10.2	218.5	98.0	12.4	11.1	9.2
福島	10.2	69.0	139.0	12.4	11.2	9.2
若松	8.3	75.5	100.3	10.4	9.3	7.3
白河	8.8	69.8	153.0	10.9	9.9	7.8
小名浜	11.9	98.7	166.1	13.9	12.9	11.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.6	81 ~ 111	95 ~ 104
東北日本海側	-0.3 ~ +0.5	93 ~ 107	94 ~ 105
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	68 ~ 117	96 ~ 104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.5
東北日本海側	-0.7 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年10月24日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月25日~11月24日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(10月25日~10月31日):

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多いですが、東北太平洋側南部では、晴れるところがあるでしょう。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

2週目(11月1日~11月7日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

3~4週目(11月8日~11月21日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

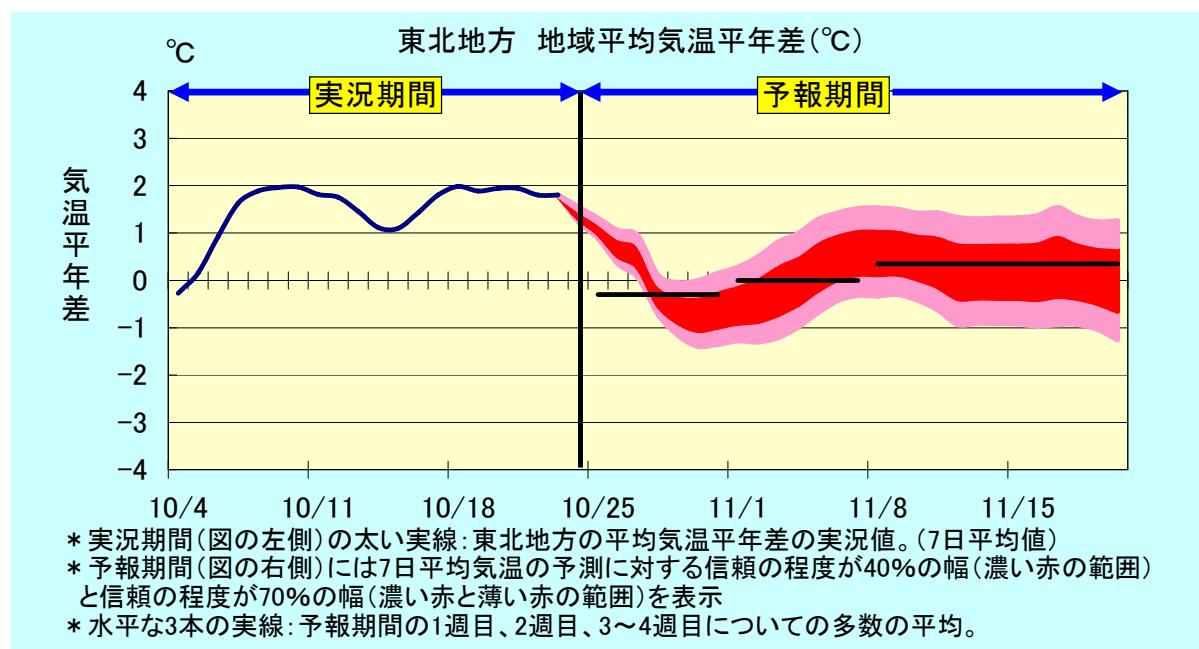
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	9.9日	2.9日	3.0日	4.0日
東北太平洋側	16.6日	4.2日	4.3日	8.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3~4週目とも平年付近の予想となっている。予報はその他の資料により、1週目を平年並から低めに考える。

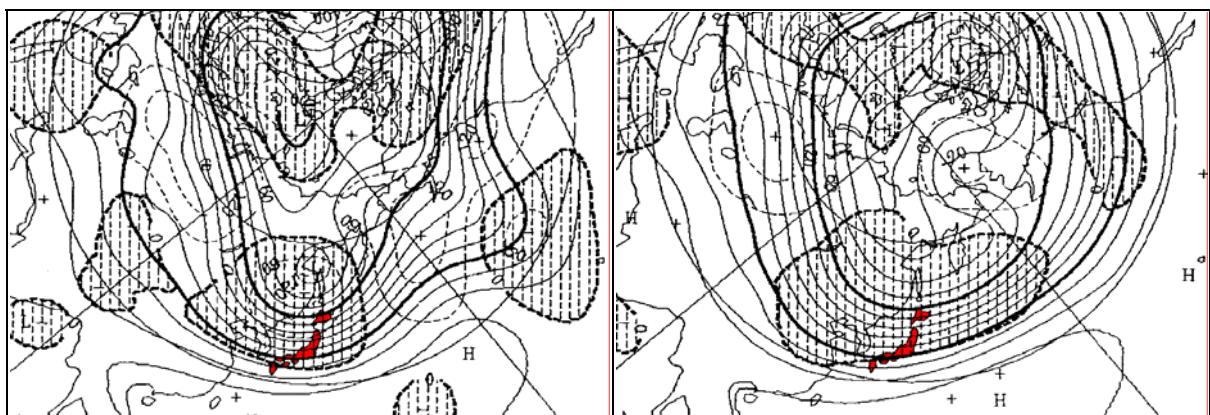
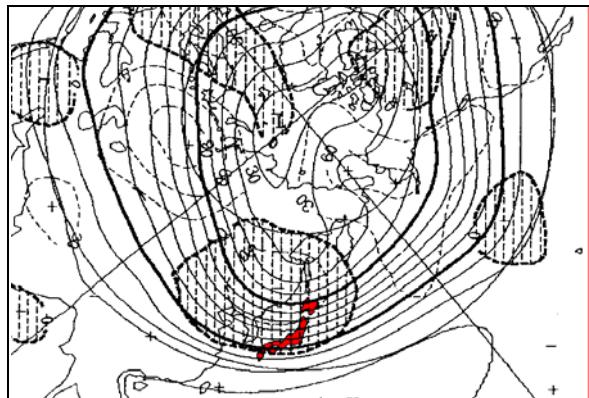


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は沿海州を中心とする負偏差となるが、中緯度付近と日本の南は正偏差。寒気の南下は一時的の見込み。日本付近はやや西谷傾向。

1週目: 日本の北を中心を持つ負偏差が日本付近をおおっている。寒気の南下が見込まれ、低温傾向。

2週目: 極東の中緯度帯は東西に広く負偏差となるが偏差は小さく、等高度線の蛇行は小さい。850hPa の気温予想図 (図略) でも東北地方の偏差は小さく、寒気の南下の影響は小さい見込み。



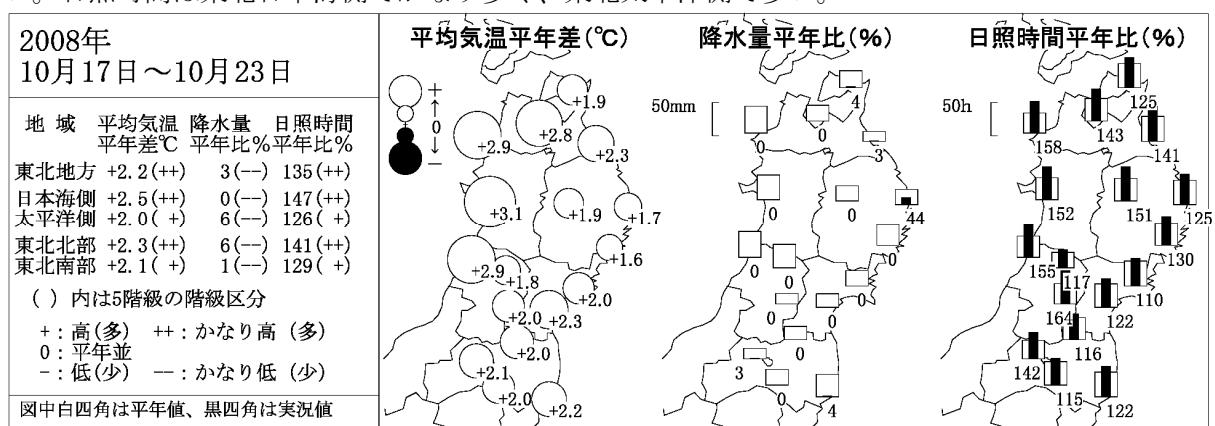
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (10月17日～10月23日) の天候の経過

この期間、移動性高気圧におおわれることが多く、晴れの日が多くかった。期間の終わりは気圧の谷の接近により雲が広がった。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)